

五、都市に於ける住宅の供給改良に必要なる方法を講じたこと

其他時勢の推移に應じて必要なる施設を講じたこと

第三、組織

本會は會員の醵金及び有志者の寄附金を基礎とする財団法人と爲す

本會に評議員會を設け各方面の人士を網羅し本會の事業遂行上に於ける議決機關と爲すこと

第二項 協調會設立の経緯とその中心人物

斯くの如く、第一次大戦を通じて惹き起された勞資の對立、勞働運動の昂揚に直面して、其の取締官廳の任

者たる床次内相等を中心とする勞資問題解決機關の設立に關する熱心なる提唱と之に對する資本家団体側よりの呼應と相俟つて、社會政策的見地よりする勞資調整機關に對する厚望は漸次具体化せんとし、ついで、この更なる機を急速に熟せしめたるは、講和條約の締結に伴ふ第一回國際勞働會議であつた。同會議に派遣すべき勞働者代表の選定に當つて、政府は比較的健全な發達を成しつゝ、あつた勞働組合たる友愛會、信友會、日本勞働組合、日本勞働聯合會及び大阪鐵工組合の五團體をその選定協議のため招請したのであつたが、この代表選定を繞つて多くの紛議を醸し、勞働者側よりの反對運動を惹き起し、政府の態度は批難され、その責任を問はんとする聲を起すに至つた。斯かる問題の處理のため